

市長記者会見

(4月25日 市役所にて)

市長に選ばれた今の率直な気持ちをきかせてください。

山積する難問に対処し、新市のまちづくりを何としてでも成功させなければならぬという使命感でいっぱいです。



▲職員に迎えられ市役所に初登庁する白井市長

市町村合併についてはどのように考えていますか。

次なる市町村合併については、今は考えていません。今回、全国で行われた『平成の大合併』については、国が、施策で市町村の数を少なくしようということからはじまったものであり、合併特例法という「アメ」と「ムチ」を考慮した結果、この地域は旧小野田市と旧山陽町との合併を選択したのだと思います。新たな枠組みでの合併が話し合われるとすれば、第二次「平成の大合併」が国の施策で行われるときだと思えます。当面はそういった国の動きと無関係に山陽小野田市として、独自に合併論議をはじめるとはありません。

市政を運営していく上での基本姿勢をきかせてください。

まず行政から徹底してムダをなくし、市の財政問題に対処します。もう一つは、市民の声を行政に反映させます。そのために行政に関するさまざまな問題を解決する審議会を設置します。公募により集まった市民のみなさんに、まずはしっかりと議論していただく、そして、その内容を広報等を通じて常に情報提供し、みなさんともに考えてもらおう、そのような「しくみ」をつくります。その過程で生まれる多様な意見を整理し、調整するのが私の役目です。

具体的には？

早速、市長以下、三役（市長、助役、収入役）の報酬を見直す協議を審議会ではじめます。もう一つ、旧山陽町の住民のみなさんのお考えを市政に反映するための地域審議会も設置します。合併により生じた両市町の「摩擦」を解消するのが目的で

す。また「山陽小野田市」という市の名称について、小野田、山陽地区でアンケートを実施します。私たちのふるさとの名前が「山陽小野田市」でいいですか、と市民のみなさんにご意見をお伺いしたいのです。

審議会などで意見が食い違ったときはどうするのですか？

確かにそのようなことも起こるでしょう。しかし、論議の過程で起る意見の食い違いなど、そのすべてを広報等を通じて常に市民に情報を提供します。もし、それが大きい問題なら、住民投票をおこないます。その他の問題は、最後まで調整に努めます。決して、少数派を切り捨てていくというやり方はしません。徹底して議論を尽くすとともに、その過程を市民に公開する。そうすれば、最後は多数の市民のみなさんがお考えのところに落ち着くはずだと思います。私は市民、一人ひとりの良識を信じています。

市長選開票結果

白井博文氏	22,726
石川宜信氏	11,311
(投票総数)	34,332人
(有効投票数)	34,037人
(投票率)	63.58%

【当日有権者数と投票率】

投票区	当日有権者数(人)	投票率(%)
本山	2,946	55.26
竜王	1,907	63.82
赤崎	2,713	62.66
須恵	3,228	58.52
叶松	1,288	58.07
中央	2,896	64.40
セメント町	897	66.78
第一小野田	2,807	60.17
第二小野田	726	62.67
有帆	3,778	62.63
第一掃山	4,395	60.71
第二掃山	1,865	69.17
高千帆	2,336	67.29
千崎	504	60.71
高泊	3,563	65.42
松ヶ瀬	137	89.78
森広	93	66.67
湯の峠	184	81.52
厚狭北	2,061	67.83
厚狭東	1,629	67.40
厚狭西	3,321	67.63
出合東	1,005	66.67
出合西	1,735	61.90
厚狭南	724	70.30
厚陽	1,651	68.50
梶	435	76.09
津布田	1,137	57.26
殖生東	1,212	67.99
中村	1,514	59.97
殖生西	1,096	62.68
福田	212	69.34
合計	53,995	63.58